

## 令和2年度大阪府立門真西高等学校 第2回学校運営協議会 議事録

《日時》 令和2年11月16日(月) 10時~12時 (授業見学含む)

《場所》 校長室

《出席者》

・委員

真野 正道 (寝屋川市教育委員 関西外国語大学)

鈴木 貴雄 (門真市教育委員会教育部 総括参事)

脊戸 利子 (門真市立第七中学校 校長)

杉井 信夫 (門真市立速見小学校 校長)

中内 恵 (本校同窓会代表) (メールで参加)

・事務局 (学校関係者)

校長 教頭 事務長 首席2

- 1 開会 校長挨拶  
委員紹介  
事務局紹介  
会長挨拶

- 2 校長より 令和2年度学校経営計画進捗状況について (報告) パワーポイント
  - ・組織的な授業改善の推進 (授業力向上対策チーム)
  - ・SC,SSW (スクールカウンセラー,ソーシャルワーカー) を活用した教育相談の充実
  - ・高大連携の推進と学校WEBの充実による広報活動の充実

- 3 教頭・首席より 今年度の取り組み状況について (報告)
  - ・授業アンケート各質問の観点の説明と第2回への改善に向けて
  - ・学校教育自己診断 (生徒) の各項目と学年進行での分析
  - ・コロナ禍でのこれまでの広報活動の現状と今後の予定

- 4 授業見学

- ・2年数学Ⅱβ,2年世界史,3年発展英語,体育館,1年生フロア各教室 (廊下から)

## 5 協議

(委員)・登下校の様子からは想像できないほど(失礼)、授業はかなり落ち着いており、生徒たちも前向きだ。

(事務局) 起立礼や机上整理、携帯の使い方など授業規律に力を入れてきた。

(委員) 授業アンケートの数値は、どの項目もかなり高い値であり、学年進行でも大変な伸び方である。これまでの取り組みの成果が現れているのではないか。

(事務局) 昨年度が低かった面もある。本格的授業が、6月からという点も大きい。

(委員) ICT活用の取組みは、評価できる。ICTだけでない部分の検証が必要である。

(委員) 先生方の工夫や熱意もあるが、1分前のメロディチャイムなど様々な効果とあいまって、生徒たちの受け止め方が変化してきていると思う。授業への興味・関心が高まれば、学校の雰囲気や生徒指導にもつながり、中退防止にもつながるのでは。

(事務局) 授業力向上対策チームでは、10年目の教員を中心に公開授業や職員研修を行っている。今年は、ユニバーサルデザインについて研修を行った。

(委員)「授業のテーマ」を全教員が板書しておくだけで、ユニバーサルデザインにつながる。今年度の授業改善のテーマにもなっているとすれば、徹底して行ってほしい。

## 6 閉会 校長挨拶

次回(第3回) 2月上旬予定